

出資法人等経営評価書(公益法人会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	財団法人 霞ヶ浦漁業振興基金協会	代表者	理事長 城取清之助	
所在地	土浦市小松1-21-9 霞ヶ浦漁連内	所管部(局)課	農林水産部 漁政課	
ホームページURL		E-mailアドレス		
基本財産	10,500 千円	設立年月日	昭和55年 7月22日	
主 なる 出資者	出資順位	出 資 者 名	出 資 額	出 資 率
	1	霞ヶ浦漁連	7,000 千円	66.7%
	2	茨城県	3,500 千円	33.3%
	3		千円	
	4		千円	
	5		千円	
	その他	団体	千円	
設立目的	国営高浜入干拓事業の収束に伴い、立ち遅れている霞ヶ浦の漁場環境の回復と漁業生産力の増強を図り、漁業及び漁協経営の体質強化と地位向上に寄与する事を目的として設立した。			
事業内容	(1) 漁場環境回復対策事業 (2) 漁業資源維持培養対策事業 (3) 漁業近代化施設整備事業 (4) 漁村振興対策事業 (5) 漁業秩序維持対策事業 (6) 漁協育成強化対策事業 (7) その他目的を達成するため必要と認める事業。			

[組 織]

7月1日現在の人数		斜字は、真関係者で内数(OBを含む)					
役 員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤理事						
	非常勤理事	12	12	12	2	2	2
	常勤監事						
	非常勤監事	3	3	3	1	1	1
	計	15	15	15	3	3	3
職 員	管理職						
	一般職						
	臨時職員						
	嘱託職員						
	計						
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
						歳 月	年 月

[収支等の状況]

		単位:千円				
区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の 状 況	事業収入					
	事業外収入	1,031	637	331	572	108
	収入合計	1,031	637	331	572	108
	事業支出	10,849	2,920	1,139	3,100	1,250
	事業外支出	20,559	3,552	3,465	3,452	3,459
	支出合計	31,408	6,472	4,604	6,552	4,709
	うち管理費	2,782	2,802	2,745	2,662	2,689
	うち人件費	750	750	700	750	750
	当期収支差額	30,377	5,835	4,273	5,980	4,601
	正味財産増加額(当期収支差額を除く。)					
	正味財産減少額(")					
当期正味財産増減額	30,377	5,835	4,273	5,980	4,601	
前期繰越正味財産	343,331	312,954	307,119	302,846	296,866	
期末正味財産	312,954	307,119	302,846	296,866	292,265	
財産の 状 況	資産	324,233	318,398	310,532	304,552	299,951
	流動資産	313,733	307,898	300,032	294,052	289,451
	固定資産	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	負債	11,279	11,279	7,686	7,686	7,686
	流動負債	11,279	11,279	7,686	7,686	7,686
	うち短期借入金					
	固定負債					
うち長期借入金						
正味財産	312,954	307,119	302,846	296,866	292,265	
財的関与 状 況	補助金					
	委託金					
	貸付金					
	計					
	財政的関与の割合(%)					
損失補償・債務保証						

[評価指標]

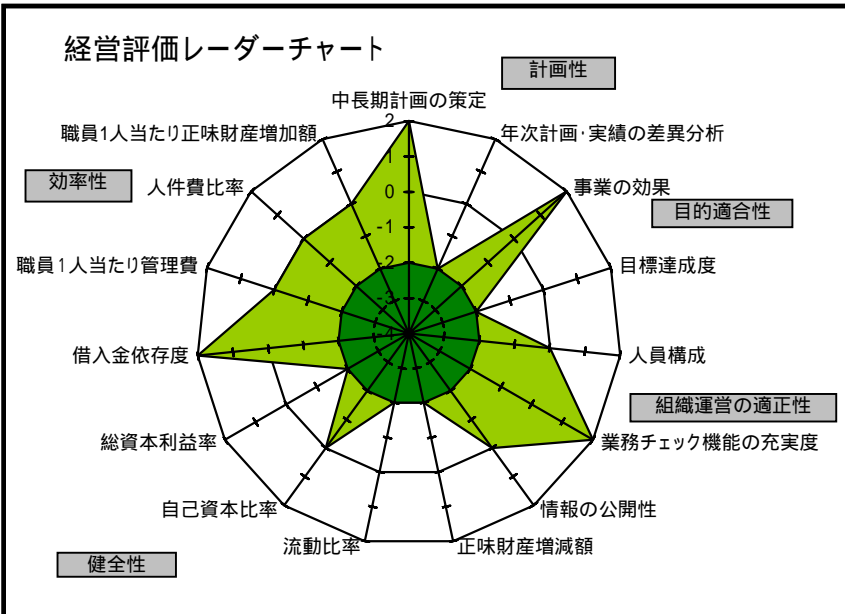
財団法人 霞ヶ浦漁業振興基金協会				12年度	13年度	14年度	評点	
計画性	1	経営基本方針の策定		経営基本方針の策定				-2
	2	中長期経営計画の策定		(経営改善計画:平成13~19年度)				2
	3	年次事業計画の策定		具体的な目標設定				2
	4	年次計画・実績の差異分析		計画未達成の原因分析と対策				-2
目的適合性	1	事業の意義		事業の必要性の検証				2
	2	事業の効果		(評価の指標:)				2
	3	顧客満足度の把握		(調査方法:)				-2
		目標達成度	%	実績値 ÷ 目標値 × 100	12	33	19	-2
	5	収益事業比率	%	収益事業の事業費 ÷ 全事業費 × 100				2
組織適正性の	1	人員構成		役員・職員の構成,年代構成の適正化				
	2	職員の動機付け体制		組織の各職員の目標・成果に対する評価				
	3	業務チェック機能の充実度		業務遂行における組織のチェック機能				2
	4	情報の公開性		事業活動内容・財務の公開状況				0
健全性	1	収支比率	%	事業支出 ÷ 事業収入 × 100				
		正味財産増減額	千円		4,273	5,980	4,601	-2
		流動比率	%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100	3,904	3,826	3,766	-2
		自己資本比率	%	正味財産 ÷ 総資本 × 100	98	97	97	0
	5	総資本利益率	%	正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100	1	2	2	-2
		借入金依存度	%	借入金 ÷ 総資本 × 100				2
		借入金返済能力	年	借入金残高 ÷ (当期正味財産増加額 + 償却費 + 引当金・積立金)				2
	8	補助金収入依存度	%	補助金収入 ÷ 収入合計 × 100				2
	9	受託事業の再委託度	%	受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100				2
		土地の含み損益						2
	11	資金の運用						-1
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円	管理費 ÷ 職員数				
	2	人件費比率	%	人件費 ÷ 収入合計 × 100				
	3	職員1人当たり事業収入	千円	事業収入 ÷ 職員数				
	4	職員1人当たり正味財産増加額	千円	正味財産増加額 ÷ 職員数				
	5	役員人件費比率	%	役員人件費 ÷ 人件費 × 100	100	100	100	0
	6	(施設管理運営型)施設等利用率	%	施設等利用延人数 ÷ 施設等定員数 × 100				
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人	施設等利用延人数 ÷ 職員数				
	7 2	(建設製造販売型)職員1人当たり建設・製造・販売実績	件	建設・製造・販売実績 ÷ 職員数				
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件	役務提供実績 ÷ 職員数				
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件	貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等		(使用料の減免額: 千円)					
9	管理費削減工夫度		削減目標の設定及び成果					

評点集計

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	0	8	0.0%
目的適合性	5	2	14	14.3%
組織運営の適正性	4	2	8	25.0%
健全性	10	5	36	13.9%
効率性	1	0	8	0.0%
合計	24	9	74	12.2%

警戒指標

目標達成度



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
国営高浜入干拓事業の収束に伴い、立ち遅れている漁場回復と漁業生産力の増強を図るため、各種事業に対して支援している。	同左のとおり、事業を実施している。	職員を配置せず、事務委託することにより管理費の削減に努めている。	借入金もなく、特に問題ない。	職員を配置せず、事務委託することにより管理費の削減に努めている。
今後の事業展開の方向	霞ヶ浦の漁獲量は減少が続いており、厳しい漁業経営のなか、漁業生産力の増強、漁業経営の安定を図るため、当協会実施事業の範囲内において新規事業の導入について検討をしていく。なお、当協会は収益事業を行わず、基金を取り崩しながら各種事業を行っているため、事業管理費の削減には最大限の注意をはらいながら事業運営にあたっている。			

記載者職氏名 霞ヶ浦漁連 総括主任 小貫 勉

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

平成15年7月10日 理事長に説明 指示事項等特になし

[所管課意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>国営高浜入干拓事業の収束に伴い、立ち遅れている漁場回復と漁業生産力の増強を図るため、各種事業に対して支援をしており、事業計画は適正なものと思われる。</p>	<p>中長期計画に対して事業実績量が少なく、当初の目的を十分達成しているとは言えない状況である。今後は、計画どおり事業を進めていく必要がある。</p>	<p>当協会の管理費の削減のため、霞ヶ浦漁連に事務委託をしており、適正なものと思われる。</p>	<p>負債はないが、低金利の影響を受けて、資金運用の果実が減少している。</p>	<p>当協会の効率を高めるため、霞ヶ浦漁連に事務委託して管理費の削減に努めている。</p>
<p>総合的所見等</p>	<p>当該法人は、霞ヶ浦の漁業生産力の増強及び漁業経営の安定のため、関係漁業協同組合が行う各種事業に対して助成を行っている。当協会の収入は預金利息のみであり、収益事業は行わず、基金を取り崩しながら各種事業に当たっている。 現在、霞ヶ浦の水産資源の減少により、漁業者は厳しい経営を強いられているため、当協会が担う役割は極めて重要である。しかし、事業計画に対して実績が低い状況にあるため、各漁協からの要望を積極的に吸い上げ、計画的に事業を進めていく必要がある。</p>			

[経営評価チームの意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中長期計画や年次計画と実績の乖離が大きいことから、霞ヶ浦水産業の情勢や各漁協の現状を把握したうえで、事業の掘り起こしを行うなど、着実な事業実施に努める必要がある。</p>	<p>霞ヶ浦の漁場環境の改善という設立目的を踏まえ、霞ヶ浦の水産資源の減少への効果的な対応など、計画的な事業執行に努める必要がある。</p>	<p>理事会を十分機能させ、各漁協のニーズを十分把握したうえで、必要な事業を速やかに実施する体制を整える必要がある。</p>	<p>収入財源が資金運用益のみであることを踏まえ、債権の活用などより堅実有利な運用に努める必要がある。</p>	<p>霞ヶ浦漁連への事務委託等管理経費約300万円に対して、約100万円の事業実績しかないなど、事業執行体制が十分機能していない状況を踏まえ、霞ヶ浦漁連への事務委託費について、成果主義を取り入れるなど、計画的な事業執行を図るための見直しを行う必要がある。</p>
<p>総合的所見等</p>	<p style="text-align: center;"> 概ね良好 改善の余地がある 緊急の改善が必要 </p> <p>霞ヶ浦の漁業環境の改善という設立目的や霞ヶ浦の水産資源の減少という状況を踏まえ、各漁業の現状等を十分把握し、新たな事業展開を図るなど、着実な事業実施に努める必要がある。</p>			